



平成 31 年 1 月 25 日

**「放射線災害・医科学研究拠点」が県民公開大学を
福島市で開催します**

広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成 28 年 4 月に設置されたネットワーク型拠点「放射線災害・医科学研究拠点」は、平成 31 年 2 月に「第 3 回ふくしま県民公開大学」を福島市で開催します。

第 3 回ふくしま県民公開大学（主管校：福島県立医科大学）

日 時 : 平成 31 年 2 月 23 日（土） 13:00～17:00
場 所 : エルティ ウェディング アンド パーティ エンポリウム
（福島市野田町 1-10-41）

「「受援」から「支援」に視点を変えて復興を考える～私たちは世界に何を伝えられるのか～」をテーマに、フォトジャーナリスト 安田菜津紀氏による基調講演、学生からの提言、パネルディスカッション等を行います。

福島県は東日本大震災後、全国そして世界からの多大な支援を受けて復興の道を歩んでいます。しかし、普遍的な災害復興のあり方を考える上で、支援を受ける立場からだけでは一面的な視点しか得られません。災害の教訓と復興の経験を世界の財産として共有し、世界の持続可能な社会づくりに役立てるという視点で復興のあり方を考えることで、福島の復興を世界に共通する普遍的な財産にするヒントを探ります。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
TEL: 082-257-5186
FAX: 082-255-8339

第3回 ふくしま県民公開大学

「受援」から「支援」に 視点を变えて復興を考える

～ 私たちは世界に何を伝えられるのか～

福島県は東日本大震災後、全国そして世界からの多大な支援を受けて復興の道を歩んでいます。しかし、普遍的な災害復興のあり方を考える上で、支援を受ける立場からだけでは一面的な視点しか得られません。災害の教訓と復興の経験を世界の財産として共有し、世界の持続可能な社会づくりに役立てるという視点で復興のあり方を考えることで、福島の復興を世界に共通する普遍的な財産にするヒントを探ります。

2019年

日時

2月23日土

13:00～(開場:12:30)

会場

エルティウェディング
アンドパーティエンポリアム

(住所:福島市野田町1丁目10-41、電話:024-535-6188)

主なプログラム

- 主催者挨拶
- 基調講演 **安田菜津紀さん**
「東北と世界、架け橋を築く」
- 学生からの提言
「災害時、災害後の専門家の情報発信(仮)」
(福島県立医科大学医学部生)
- パネルディスカッション

定員 **200名** 申込締切
2019年2月15日金

定員に達した場合は、締切日前に受付を終了させていただきます。

申込方法

お申し込みはホームページより▶
<https://www.fmu.ac.jp/univ/inv/>



「入場無料」

(事前登録制)
中高生・大学生の参加を
お待ちしております



報道番組
「サンデーモーニング」で
活躍の

安田菜津紀さん

【プロフィール】

1987年神奈川県生まれ。Dialogue for People (ダイアログフォーピープル) 所属フォトジャーナリスト。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

問い合わせ先

福島県立医科大学 医療研究推進課 研究推進係
電話:024-547-1794 FAX:024-581-5163

主催
後援
(予定)

放射線災害・医科学研究拠点



公立大学法人
福島県立医科大学



広島大学



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

復興庁、福島県、福島県教育委員会、福島県市長会、福島県町村会、福島県医師会、公益社団法人福島県看護協会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局